

京都教区時報

京都教区広報委員会
(編集長 村上透磨)

京都教区本部事務局
京都市中京区
河原町通三条上る

TEL 075-211-3025

FAX 075-211-3041

honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2021年 司教年頭書簡を受けて

第2回 神のいのちに生きる

『すべてのいのちを守るため』Ⅱと題されている大塚司教の年頭書簡。キリスト者にとっての「いのち」は「命」とは表記せず、神のいのち、すなわち「永遠のいのち」のことを指しています。もし、「人間の生命」、つまり人体の活動である命であれば漢字表記になります。ですから大塚司教のいう「いのち」は、永遠のいのちを指しています。「いのち」と「命」は密接に結びついています。「命」に「いのち」が宿るからです。イエス様は「いのち」に生きる者として人間の肉体をとられました。

「いのち」を守るのは神様の役目です。与えるのも維持するのも神様の役目、わたしたちは「永遠のいのち」がどのようなものか知らないからです。「永遠のいのち」が何であるのかは、わたしたちの肉体が死んで、神様と直接出会ったときに、はっきりわかるだろうと言われています。しかし、教会の伝えることや自らの体験から、「永遠のいのち」が、おぼろげにですが、どのようなものであるかわかるように、聖霊はわたしたちに教えてくださいます。愛の交換、希望をもたらすもの、神様に向かっていく信仰、また、真・善・美にも「永遠のいのち」を感じ取ることができます。神様が人間に「永遠のいのち」を与え、生き

るようになさってくださっているのですから、わたしたちはこの神様の働きに協力したいと思っています。大塚司教の年頭書簡のタイトルには、そんな人間の側からの思いが表現されているのでしよう。『すべてのいのちを守る』ために、わたしたちは神様に協力していけるような存在でありたい。そのためにどのように祈り、考え、行動するのかを示してください。今年、今年頭書簡なのだと思います。

キリストは十字架の死によって悪を滅ぼし、勝利してくださいました。この事実によってキリスト者である「永遠のいのち」を持つ者は、希望を持ちながら生きることができます。わたしたちを生かしてください。「永遠のいのち」によって、生き生きと神に活かされるようにと願っています。わたしたちの中にある悪に勝利した「永遠のいのち」が輝き、暗闇を照らしてください。

滋賀ブロック担当司祭

小立花 忠



筆者は2020年4月22日より、「ほっちミサ」と名付け、週日のミサを毎日YouTubeで配信している。それももうすぐ1年になる。

3
2021

濟州からの手紙

濟州教区司祭 キム・テジョン

京都教区と濟州教区が姉妹教区になったから、これまで5人が派遣されました。その中で私は3番目です。2010年1月16日に司祭に叙階されて、そのあと11年過ごしていますが、3年間は濟州教区で助任司祭として働き、その後京都教区に「派遣させられて」8年間過ごしました。実にこの間、韓国よりも日本の司牧生活の方が長いのです。

韓国の濟州道で生まれて育った私にとって、司牧する場所は濟州教区が当然だと思っていました。様々な計画を実現しようとしていた私に、京都教区への派遣は、一度も行ったことのない未知の世界に向かうときめきと緊張の命令でした。しかし、京都教区で過ごした8年は、私にとって本当に意味の深い時間となりました。



新司祭に按手する筆者
2021年1月23日叙階式にて

私をより成長させてくれた京都教区での生活を振り返ってみました。

私の日本への派遣の最初のイメージは「訓練」でした。なぜか。正直に言うとうと、司祭になったら「これからは勉強しなくていいや」と思っていました。それなのに、日本に来ることが決まってからは、日本語の勉強をしなければならなかったのです。しゃべれないし、試験もたくさんあってその圧迫感があり、司教様からも、日本語能力試験に合格してください！と言われて、神学生の時難しかったラテン語を勉強していたあの頃のように、毎日日本語単語帳を手にした時間。それが訓練でした。このような圧迫感や重さ、これは、まるでイエス様のいばらの冠と十字架の重みのように感じました。その次は「挑戦」でした。韓国にはない「担当司祭」の仕組みの中でぶつかって、常に新しい挑戦をすることになりました。韓国で経験したことを日本でやってみようとしたら「うちの教会はこういうこと、やったことがないです」と言われ、出る杭は打たれるという感じでした。が、渋っている信者さんと話し合いをしながら一歩一歩進んでいく瞬間は、まるでイエス様と弟子たちが、闇から勝ち抜いて進まれる瞬間だと思いました。そして、最後は「感謝」です。信者さんたちと出会って一緒に祈ったり、食べたり、飲んだりしながら、すべての瞬間の中で、イエス様と出会うことができました。8年間の最初の2年間は日本語学校に通い、次に洛東ブロックで働いて、滋賀ブロックへ来るときは新しいところ

でまた不安もちょっとありましたが、いつも皆さんが自分の家族のように受け入れてくださいました。8年の間には日韓の関係も少し悪くなった時もありました。しかし、皆さんは韓国人と日本人との対立とは関係なく、私を自分の子供・おい・兄弟のように接してくださいました。本当にありがたかったです。私も皆さんを、兄弟姉妹・家族のように感じました。主の食卓を囲んで一日を分かち合ったり、笑ったり遊んだりした弟子たちの姿を、私はこの中で感じる事ができました。

今の心は、図書館で本を借りて、きれいに読んで、また返す時に似ていると思います。本をよく読んだことに感謝し、どこか破れたり汚れたりしていないか見て、これから誰がこの本を読むのか想像してみたり、その本との思い出がひとつの教えとして残り、その教えを実践すると、結局、その本の文字は力を得るようになりまます。8年間の日本、さらに京都教区という本を読んで、すっかり返す気持ちで、濟州に戻ります。もっと読みたい、再び借りてみたい心もあります。また、他の人に知らせて、多くの人に読ませたい気持ちです。京都教区での経験と思い出をもとに、これからの司祭司牧生活を熱心に生きたいです。

多くのことを教えてくださり模範となってくださった大塚司教様をはじめ、京都教区の皆さんと一緒に過ごしたすべての日々、時間はよいものでした。振り返ってみると毎日が神様のお恵みでした。本当にありがとうございます。



京都教区の初代教区長をご存じでしょうか。現在の大家喜直司教は第4代。歴史をさかのぼると、第3代は田中健一司教、第2代は古屋義之司教、そして初代が、メリノール宣教会のパトリック・バーン司教です。



1937(昭和12)年、大阪教区の一部だった京都、滋賀、奈良、三重は京都知牧区として設立されました。

そして、バーン神父(この時は司教区ではなかった)ので、神父のまま)が教区長となられ、1941(昭和16)年までの4年間、務められました。

京都南部地区洛北ブロックにある高野教会では、毎年、バーン司教の命日(11月25日)に近い主日ミサの中で、バーン司教のために追悼の意向でミサを捧げてくださいました。2020年は、帰天からちょうど70年。しかしコロナ禍のため、追悼ミサの計画もなくなっていました。

そんな時、東京のマリア会の司祭、終暁生(ひらぎあけお)神父から、命日当日、高野教会でバーン司教のために、ミサを立てさせてほしいという依頼が入りました。

高野教会は古い聖堂のため、換気が難しく、10月のミサ再開後は、窓が全開できるホールにてミサが行われていました。しかし、高野教会に居住しておられる花井神父のご厚意により、当日は聖堂にミサの準備が整えられ、終神父は、祭壇に置かれたバーン司教の遺影に見守られながら、帰天70年の追悼ミサを捧げられました。会衆は、高野教会の役員、広報部員、そして教区時報の編集者の3名。ミサ後、終神父にお話を伺いました。



高野教会でミサを捧げる終神父

終神父は終戦直後の1945年8月のお生まれ。信仰熱心なご両親に連れられ、生後2か月の時に高野教会にて、バーン司教(当時神父)より洗礼を受けられました。終神父が、高野教会の洗礼台帳を見せてほしいと言われたので、事務担当者を探してもらおうと、「高野教会洗礼台帳11番」に、バーン司教直筆の終神父の記録が見つかりました。終神父は幼かったのですが、バーン司教のことは覚えておられないようですが、お父様がバーン司教をととても尊敬されていたとのこと、

バーン司教に出会えたようだ、とても喜ばれました。

5年後、バーン司教の帰天75年祭には、再び高野教会で追悼ミサを捧げていただく約束をして、終神父とお別れしました。

バーン司教様、パンデミックのさなかにある私たちのために祈りください。

広報委員 原山裕子

―パトリック・バーン司教 略歴―

1880年10月	ワシントンにて誕生
1915年6月	ワシントンにおいて司祭叙階
1923年春	ニューヨークのメリノール宣教会に入会
1927年	教皇ピオ11世に謁見後、韓国調査旅行
1929年春	ピョンヤン教区長メリノール宣教会総長補佐
1935年3月	来日、滋賀県にて宣教活動
1937年6月	京都教区初代教区長
1940年11月	京都教区長を古屋義之神父に委任
1941年12月	開戦から終戦まで
1945年8月	高野教会に軟禁
1947年	韓国駐在
1949年4月	韓国教皇使節任命
1949年6月	司教叙階
1950年7月	北朝鮮軍捕虜
1950年11月25日	下昌里郊外にて帰天

2021年度 典礼委員会 オンライン典礼講座

『イエス・教会・秘跡』 ～教会の秘跡とは何か～

*コロナ禍の中でキリスト者であるわたしたちが、イエスの宣教した「神の国のしるし」である「教会」と「教会の秘跡」について、改めて理解を深めるための講座です。

日時：毎月1回 水曜日 14:30～15:30

講師：奥村師、菅原師、大塚師、北村師、小立花師、鶴山師

日程

4 / 21	5 / 12	6 / 16
7 / 28	9 / 22	10 / 20
11 / 17	1 / 19	2 / 2

対 象：京都教区の信徒で、関心のある方ならどなたでも

方 式：**ZOOM**

申込方法：下記のURL、もしくは右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/VT47pNXhfA6F2enz7>

教区典礼委員会のHPからもアクセスできます。

確認が出来次第、こちらから受付完了メールをお送りします。

定 員：50名 **先着順で申し込みを締め切りますので、ご注意ください。**



お問合せ

■申込みについて：福音宣教企画室 TEL. 075-211-3025(代表)

火～金10:00～16:00

fukuin.kyoto@gmail.com

■講座内容について：北村善朗神父 kitamura@kyoto.catholic.jp

トマソのじぶやき

「ヨセフ様の顔を知りたければ」



西陣教会聖堂前のヨセフ像

かに見えるヨセフ様を連れ出して、その顔眺めるのは楽しいことです。ヨセフ様の書物は、とても少ないように思います。どうしてなのでしょう。聖書の中にあまり姿を現されないからか、それとも偉大な御子と奥様の影にしか見えなためか。聖家族といえば、イエス・マリア・ヨセフ。ヨセフ様はおしり。でも、ナザレのあの家族は、ヨセフ・マリア・イエスの家族。ヨセフ様が一家の柱。この家族の特徴は、互いを思い、敬い、愛し、仕える家族だった(勢力争いはない)。ヨセフ様を知りたかったら、イエス様を見つめればよい。観想すればよい。ああ、ヨセフ様についてたくさん話したい。それは、イエス様とマリア様の姿を追うことだから。

広報委員会司祭 村上透磨

村上神父のコラムを不定期で掲載いたします。

教皇フランシスコは、2020年12月8日から2021年12月8日を「ヨセフ年」とされました。

3月はヨセフ様の月(祝日3月19日)。今年19日はヨセフ様の年。普段隠れている

3月ですね！ コロナで様々な行事が中止になる中、皆様どのようにお過ごしでしょうか？ 来月からは、進級、進学、就職と身の回りの環境が大きく変わる人も多いかと思えます。新生活を始められる皆様、おめでとうございます！

青年センターは、京都教区内の各教会、青年の諸活動をバックアップするための機関であり、時には合宿や企画を主催し、行っています。また、教区を越えた青少年活動についての京都教区の窓口として活動しています。

例年は、5月に交流を中心とした合宿「春プロジェクト」、3月、7月、10月に開催する一日企画、11月に毎年行っている「YES」、2か月に1度各地区を回って行く運営委員会、青少年交流会等、様々な活動が盛りだくさんでした。しかし、去年に続き、今年も、コロナ禍で開催が厳しいイベントもあると思いますが、オンライン等を使って開催していきたいと思っています。イベント開催の際にはHPに告知しますので、そちらをご覧ください。

青年センターでは、HPやFacebook、Twitterでの広報活動を行っています。少しでも興味を持たれた方は、ぜひご覧ください！

滋賀地区運営委員/唐崎教会 松井 美奈



青年センターはこの部屋です！

青年センター外観

京都市上京区新町通一条上ル一条殿町502-1
カトリック西陣教会内 西陣青年会館の3階



←こちらから青年センターのHPがご覧になります。QRコードを読み込んでください。

青年センターあんでな

大塚司教の3月のスケジュール

新型コロナウイルス感染症の影響のため、スケジュールが変更される場合がありますので、最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。



3月のお知らせ

教 区

広報委員会

お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区本部事務局宛

- ・メール/honbu@kyoto.catholic.jp
- ・Fax/075(366)6679

発信者のお名前を明記の上お寄せください。

※ 5月号の原稿締切り日は3月22日㊦です。

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練習：14日㊦ 14:00 洛星宗教研究館
27日㊦ 18:00

ミサ奉仕後 河原町教会聖堂

現在活動休止中。再開時、団員には連絡します。

問合せ：075(951)4283 則武 隆

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練習：11日㊦・25日㊦ 10:00

河原町教会2階楽廊

現在活動休止中。再開時は連絡網にて。

問合せ：075(701)3303 岡田久美

カトリック京都働く人の家(九条教会内)

定例会：14日㊦ 15:30~17:30

対象：15歳~35歳の方 どなたでも

問合せ：090(8207)1831 瀧野正三郎

心のともしび ラジオ番組案内

(全国34局で放送)

K B S 京都 ㊦~㊧ 朝 5:55

㊨ 朝 5:15

ラジオ関西 ㊦~㊧ 朝 5:00

㊨ 朝 6:05

3月のテーマ「気づき」

掲載の行事が変更になる場合もあります。各団体にご確認ください。

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

Tel・Fax/079(431)8601

済州教区司祭・助祭叙階式
2021年1月23日



写真中央 ユン・ドンホン新司祭
左 ソル・ギョビン新助祭
右 ホ・ジョンヒョク新助祭
おめでとうございます!



済州教区司祭集合写真
ブ神父、チェ神父、キム神父の姿も見えます。



ユン・ドンホン新司祭 初ミサ
2021年1月24日

京都教区のホームページに

「京都教区みんなの部屋

~ミサ・祈り・説教・講話 etc ~」

ができました。のぞいてみてください。

